



CHAPTER 9

Cisco Unity Connection 9.x でのカスタム録音の管理

次の項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection 9.x でのカスタム録音の概要」 (P.9-1)
- 「Cisco Unity Connection 9.x での新しいカスタム録音の追加」 (P.9-2)
- 「Cisco Unity Connection 9.x でのカスタム録音の変更」 (P.9-2)
- 「Cisco Unity Connection 9.x でのメッセージ後に送信されるカスタム録音の設定」 (P.9-3)
- 「Cisco Unity Connection 9.x でのカスタム録音の削除」 (P.9-6)

Cisco Unity Connection 9.x でのカスタム録音の概要

Cisco Unity Connection では、メッセージが送信された後に、カスタマイズされた録音を再生できます。また、グリーティングが再生された後にカスタム録音を再生することもできます。グリーティングは、発信者がユーザまたはコールハンドラにメッセージを残すことを許可される前に再生されます。



(注) Cisco Unity Connection 9.0 で、[グリーティング後メッセージ (Post Greeting Recording)] オプションは [カスタム録音 (Custom Recordings)] オプションに変更されました。


Cisco Unity Connection Administration では、メッセージが送信された後、再生のためのオプションを、録音なし、デフォルトのシステム録音、カスタム録音から選択できます。Connection では、新しいカスタム録音を追加したり、既存の録音を変更したり、既存の録音を削除したりすることができます。さらに、メッセージが送信された後や、グリーティングが再生された後に再生できる複数のカスタム録音をさまざまな言語で録音できます。

各カスタム録音を録音するには、[カスタム録音の編集 (Edit Custom Recording)] ページで Media Master を使用する必要があります。カスタム録音は、Cisco Unity Connection Administration の [コール管理 (Call Management)] > [カスタム録音 (Custom Recordings)] ページで設定されます。[録音後のメッセージの再生 (Play After Message Recording)] および [グリーティング後メッセージ (Post Greeting Recording)] オプションを設定できる対象は、次のとおりです。

- ユーザ
- ユーザ テンプレート
- コールハンドラ
- コールハンドラ テンプレート

Cisco Unity Connection 9.x での新しいカスタム録音の追加

新しいカスタム録音を追加する方法


- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[コール管理 (Call Management)] を展開し、[カスタム録音 (Custom Recordings)] を選択します。
- ステップ 2** [カスタム録音の検索 (Search Custom Recordings)] ページで、[新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 3** [カスタム録音の新規作成 (New Custom Recording)] ページで、カスタム録音の表示名を入力します。
-
-  **(注)** * (アスタリスク) マークの付いたフィールドは必須です。
-
- ステップ 4** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 5** [カスタム録音の編集 (Edit Custom Recording)] ページで、カスタム録音の設定の入力を続けます。(フィールドの詳細については、[ヘルプ (Help)] メニューの [このページ (This Page)] を選択してください)。
- ステップ 6** 録音する言語を選択し、[再生/録音 (Play/Record)] を選択します。
- ステップ 7** [カスタム録音の編集 (Edit Custom Recording)] ページでの録音が終了したら、[保存 (Save)] を選択します。

関連項目

- [New Custom Recording](#)

Cisco Unity Connection 9.x でのカスタム録音の変更

カスタム録音を変更する方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[コール管理 (Call Management)] を展開し、[カスタム録音 (Custom Recordings)] を選択します。
- ステップ 2** [カスタム録音の検索 (Search Custom Recordings)] ページで、変更するカスタム録音の表示名を選択します。
-
-  **(注)** 変更するカスタム録音が検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドで適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。
-
- ステップ 3** [カスタム録音の編集 (Edit Custom Recording)] ページで、必要に応じて設定を変更します。(フィールドの詳細については、[ヘルプ (Help)] メニューの [このページ (This Page)] を選択してください)。

ステップ 4 [カスタム録音の編集 (Edit Custom Recording)] ページでの設定の変更が終了したら、[保存 (Save)] を選択します。

関連項目

- [Edit Custom Recording](#)

Cisco Unity Connection 9.x でのメッセージ後に送信されるカスタム録音の設定

次の、該当する手順に従ってください。

- 「ユーザに対してメッセージ後に送信されるカスタム録音を設定する方法」(P.9-3)
- 「ユーザ テンプレートに対してメッセージ後に送信されるカスタム録音を設定する方法」(P.9-4)
- 「コールハンドラ テンプレートに対してメッセージ後に送信されるカスタム録音を設定する方法」(P.9-4)
- 「システム コールハンドラに対してメッセージ後に送信されるカスタム録音を設定する方法」(P.9-5)
- 「一括編集モードでユーザに対してメッセージ後に送信されるカスタム録音を設定する方法」(P.9-5)



(注)

デフォルトでは、[メッセージ設定の編集 (Edit Message Settings)] ページでは、ユーザ、ユーザ テンプレート、コールハンドラ テンプレート、およびシステム コールハンドラに対して [システム デフォルト メッセージを再生する (System Default Recording)] オプションが選択されます。

ユーザに対してメッセージ後に送信されるカスタム録音を設定する方法

ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、[ユーザ (Users)] を展開し、[ユーザ (Users)] を選択します。

ステップ 2 [ユーザの検索 (Search Users)] ページで、ユーザの表示名を選択します。



(注) ユーザが検索結果テーブルに表示されない場合は、ページ上部の検索フィールドに適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。

ステップ 3 [ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューから [メッセージ設定 (Message Settings)] を選択します。


ステップ 4 [メッセージ設定の編集 (Edit Message Settings)] ページで、[録音再生 (Play Recording)] オプションを選択してから、[メッセージの選択 (Recording Selection)] ドロップダウン リストから必要な録音を選択します。

ステップ 5 [保存 (Save)] を選択します。

関連項目

- [Edit Message Settings](#)

ユーザ テンプレートに対してメッセージ後に送信されるカスタム録音を設定する方法

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[テンプレート (Templates)] を展開してから、[ユーザ テンプレート (User Templates)] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザテンプレートの検索 (Search User Templates)] ページで、ユーザ テンプレートの表示名を選択します。
-  **(注)** ユーザ テンプレートが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドに必要なパラメータを設定して [検索 (Find)] を選択します。
-
- ステップ 3** [ユーザテンプレートの基本設定の編集 (Edit User Template Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューから [メッセージ設定 (Message Settings)] を選択します。
- ステップ 4** [メッセージ設定の編集 (Edit Message Settings)] ページで、[録音再生 (Play Recording)] オプションを選択してから、[メッセージの選択 (Recording Selection)] ドロップダウン リストから必要な録音を選択します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] を選択します。
-

関連項目

- [User Templates Message Settings](#)


コールハンドラ テンプレートに対してメッセージ後に送信されるカスタム録音を設定する方法

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[テンプレート (Templates)] を展開して [コールハンドラ テンプレート (Call Handler Templates)] を選択します。
- ステップ 2** [コールハンドラ テンプレートの検索 (Search Call Handler Templates)] ページで、コールハンドラ テンプレートの表示名を選択します。
-  **(注)** コールハンドラ テンプレートが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドで適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。
-
- ステップ 3** [コールハンドラ テンプレートの基本設定の編集 (Edit Call Handler Template Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューから [メッセージ設定 (Message Settings)] を選択します。
- ステップ 4** [メッセージ設定の編集 (Edit Message Settings)] ページで、[録音再生 (Play Recording)] オプションを選択してから、[メッセージの選択 (Recording Selection)] ドロップダウン リストから必要な録音を選択します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] を選択します。
-

関連項目

- [Call Handler Templates Message Settings](#)


システム コール ハンドラに対してメッセージ後に送信されるカスタム録音を設定する方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で [コール管理 (Call Management)] を展開して [システム コール ハンドラ (System Call Handlers)] を選択します。
- ステップ 2** [コール ハンドラ テンプレートの検索 (Search Call Handler Templates)] ページで、コール ハンドラの表示名を選択します。
-  **(注)** コール ハンドラ テンプレートが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドで適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。
- ステップ 3** [コール ハンドラの基本設定の編集 (Edit Call Handler Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューから [メッセージ設定 (Message Settings)] を選択します。
- ステップ 4** [メッセージ設定の編集 (Edit Message Settings)] ページで、[録音再生 (Play Recording)] オプションを選択してから、[メッセージの選択 (Recording Selection)] ドロップダウン リストから必要な録音を選択します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] を選択します。

関連項目

- [Call Handler Message Settings](#)

一括編集モードでユーザに対してメッセージ後に送信されるカスタム録音を設定する方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[ユーザ (Users)] を展開し、[ユーザ (Users)] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザの検索 (Search Users)] ページで、該当するユーザのチェックボックスをオンにして、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。
- 一括編集するユーザが 1 つの [検索 (Search)] ページに表示されない場合は、最初のページで該当するすべてのチェックボックスをオンにし、次のページに移動して該当するすべてのチェックボックスをオンにするという操作を、該当するすべてのコール ハンドラを選択するまで繰り返します。次に、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。
- ステップ 3** [ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューから [メッセージ設定 (Message Settings)] を選択します。
- ステップ 4** [メッセージ設定の編集 (Edit Message Settings)] ページで、フィールド名 ([録音後のメッセージの再生 (Play After Message Recording)]) の左側にあるチェックボックスをオンにしてそのオプションを選択してから、[メッセージの選択 (Recording Selection)] ドロップダウン リストから必要な録音を選択します。[ヘルプ (Help)] > [このページ (This Page)] を選択して、各設定の説明を確認します。
-  **(注)** [ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページの最上部に表示されるステータス メッセージは、編集されているユーザの数を示しています。また、このページには一括モードで編集可能なフィールドだけが表示されています。
- ステップ 5** [送信 (Submit)] を選択します。

ステップ 6 一括編集モードでシステム コール ハンドラに対するカスタム録音を設定するには、ステップ 1～5 を繰り返します。

関連項目

- [Custom Recordings in Cisco Unity Connection 9.x](#)

Cisco Unity Connection 9.x でのカスタム録音の削除

カスタム録音を削除する方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[コール管理 (Call Management)] を展開し、[カスタム録音 (Custom Recordings)] を選択します。
- ステップ 2** [カスタム録音の検索 (Search Custom Recordings)] ページで、削除するカスタム録音の表示名の横にあるチェックボックスを選択します。



(注) 削除するカスタム録音が検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドで適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。

- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ 4** 削除の確認を求めらるダイアログボックスで、[OK] を選択します。



- (注)**
- [録音後のメッセージの再生 (Play After Message Recording)] オプションで選択されている録音を削除した場合は、[メッセージ設定の編集 (Edit Message Settings)] ページで、[メッセージの選択 (Recording Selection)] オプションが無効になり、[システム デフォルト メッセージを再生する (System Default Recording)] オプションが選択されます。
 - [グリーティング後メッセージ (Post Greeting Recording)] オプションで選択されている録音を削除した場合は、[グリーティング後メッセージの設定の編集 (Edit Post Greeting Recording Settings)] ページで、[メッセージの選択 (Recording Selection)] が [なし (None)] に変更され、[メッセージを再生しない (Do Not Play Recording)] オプションが選択されます。